

[EDU500044]

[工学系にみる Fusion 360 の導入の期待とその効果]

渡辺 朋代
オートデスク株式会社
エデュケーションエクスペリエンス

学習の目的

- これからものづくりに求められる設計教育の要件を把握する
- 教育機関での設計製造教育の取り組みを知る
- 若年者への技術教育のための教育者や指導者の経験から学ぶ
- 日本国内の先進的なものづくり、設計教育とその手法を学ぶ

説明

SDGSにもみられるとおり持続可能性のあるものづくりのために必要となる要件は変化しつつあります。また、それに伴い、必要とされるスキルや教育内容も変革を求められています。日本国内の教育機関において、すでに始まっている設計ならびにものづくり教育を指導されている先生方が取り組まれている教育、指導内容の取り組みとそのご意見についてインタビュー形式でお伺いしています。

スピーカーについて

オートデスク エデュケーションは、次世代を担う学生向けに、学習過程にて利用するソフトウェアを無償で提供するほか、Fusion 360を中心としたものづくり教育支援を行っています。

オートデスク エデュケーション：<https://www.autodesk.co.jp/education/>

Fusion 360 向け学習ポータルサイト：<https://www.autodesk.co.jp/campaigns/design-now>

最新のものづくりプロジェクト支援のほか、Fusion 360 や 3D CAD の授業導入支援、学生による優れたプロジェクト発表の場の機会創出等による包括的な支援を行っています。

Design シンポジウム 2021 では、『オンラインを活用した持続可能性のあるものづくり、設計教育への取り組み』としてその活動の報告も行っています。 <https://d-sym.jp/index.html>



工学系にみる Fusion 360 の導入の期待とその効果

[役立つヒント: 工学系での設計、ものづくり教育のための教育内容のご紹介]

次世代の技術者育成のために、日本で新しい工学系の設計、ものづくり教育を切り拓いている先生方5名にお話を伺いします。

MORE/ LESS/ BETTER

オートデスクは、これからものづくりに必要なビジョンとして、MORE/ BETTER/ LESSを掲げています。それらを実現していくためには、従来からのプロセスの踏襲ではなく、新しいスキルや技術を取り入れていく必要が出てきます。そのために取り組むべきことは何か、みなさんと一緒に考える機会とし、次の世代に向けた新しい教育に備えていきましょう。

教育機関でこれからの時代に備えた 設計、ものづくり教育を授業で実践される教育者の皆様へのインタビュー

このような時代の変化を受け、新しい技術を授業に取り入れている5名の工学系教育者の方々よりお話を伺いします。

インタビューでは、下記の点を中心にお伺いしています。

- ◆ 従来からの授業で改善したかった点
- ◆ 導入後で変化があったこと
- ◆ 学生の反応、学習効果
- ◆ Fusion 360 で便利だと思う機能
- ◆ 今後活躍するエンジニアや研究者を育成していくための取組

本セッションでは、3つのテーマより5名の先生よりお話を伺いました。

イノベーション教育

- 東京工業大学 因幡和晃 先生

ものづくり設計演習系

- 東京大学 田中 貴久先生
- 日本大学 柳澤 一機先生
- 大阪工業大学 吉川雅博先生

CAD/CAM/CAE 系

- ものづくり大学 町田 由徳先生

これからの若手技術者や研究者育成のヒントが多数含まれていますので、ぜひご視聴ください。